

資料 大島社協の取り組み状況（10月16日～1月31日）

10 月	16日（水）	台風26号による土石流災害が発生し、大島町では人命優先の救助活動が展開されました。
	18日（金）	大島社協では被害の大きかった地域を中心に、ニーズの把握をすすめ、「大島社会福祉協議会 災害ボランティアセンター」を立ち上げました。また、情報発信サイト（facebook）を開設しました。
		大島社会協災害ボランティアセンターで、ボランティアの受付・活動を開始しました。
	19日（土）	途中、雨が降ってきたため13時までの活動となりましたが、大島社協災害ボランティアセンターでは、65人が9件の活動（泥だし7件、避難所支援1件、給水ボランティア1件）を行いました。 ※大雨に伴う20日までの避難勧告の発令に伴い、ボランティア活動は休止しましたが、21日（月）は朝から活動を再開しました。
	25日（金）	台風27号の接近に伴い、大島町では全島に避難勧告（元町地区には避難指示）を発令し、社協では要援護者の避難所への移送を支援しました。
	27日（日）	台風明けの大島社協災害ボランティアセンターの活動を再開し、以降、島外からのボランティアと島内のボランティアがともに活動を拡充していきました。
		大島社協災害ボランティアセンターでは、facebookに加えてホームページを開設しました。
28日（月）	大島社協では、島外向けの情報発信にとどまらず、島内全体向けにボランティアを募集するチラシを配布するなど、紙ベースによる情報発信をすすめました。	
	29日（火）	大島社協では、大島町民児協と情報交換を行い、大島社協災害ボランティアセンター活動と民生委員・児童委員による活動の連携をすすめました。
11 月	1日（金）	大島町では、「広報おおしま災害臨時号」を発行し、大島社協は島内向けに大島社協災害ボランティアセンターの案内を掲載しました。

		大島社協では、避難所内に喫茶コーナー「あいべえ」を開設しました。「あいべえ」は「一緒に行きましょう」という意味です。
	2日（土） ～4日（月）	大島社協災害ボランティアセンターでは、3連休の間に1,022人が活動に参加しました。島内・島外のボランティアがともに活動しました。
	6日（火）	大島町では、元町・北の山・岡田・泉津において「住家（家屋）被害認定調査」を開始しました。
	11日（月）	大島社協では、子ども家庭支援センターと情報交換を行い、子育て家庭における支援ニーズの把握をすすめました。
	12日（火）	大島社協では、避難住宅において喫茶コーナー「あいべえ」を再開しました。
	19日（火）	大島社協では、在宅避難者を対象にした配食サービスを開始しました。
	20日（水）	大島社協災害ボランティアセンターでは、土砂出し、ガレキ撤去など多人数を要するニーズは収束傾向にあるため、11月25日（月）より、島外の個人ボランティアの受付を見合わせすることを発表しました。土砂出し、ガレキ撤去のニーズは収束に向かいましたが、生活支援に向けた活動は引き続き展開していきました。

	21日（木）	大島町では地区別に「罹災証明書」の発行を開始しました。
		大島社協では、元町2町目のふれあい館「くぼいち」で住民交流会「あいべえ」を開始しました。
	25日（月）	大島社協災害ボランティアセンターでは、島外の個人ボランティアの受付を25日（月）から見合わせています。また、12月1日（日）より大島社協は土曜日・日曜日・祝日は休館することとしました。
12月	2日（月）	大島社協災害ボランティアセンターでは、島民への定期的な情報提供を行うため「かわら版」の発行・配布を開始しました。

6日（金）	大島社協災害ボランティアセンターでは、「島内ボランティア交流会」を開催しました。島内22名、継続支援団体15名の計37名のボランティアが参加しました。
12日（木）	東京都は、大島町における応急仮設住宅を旧大島町立北の山小学校跡グラウンドに建設し、平成26年1月25日（土）頃から入居開始予定であることを発表しました。
13日（金）	大島町では「広報おおしま災害臨時号」を発行し、応急仮設住宅への入居申請受け付けを12月16日（月）から12月20日（金）まで行うことを発表しました。
17日（火）	大島町では、「大島町土砂災害復興基本方針-島の地域力と協働による安全・安心なまちの再生を目指して-」を発表しました。

	25日（水）	大島社協災害ボランティアセンターでは、平成26年1月から活動内容の軸を生活支援に移行することを発表しました。毎週月曜・火曜にはかわら版の配布、木曜には喫茶スペース「あいべえ」を実施しながら、生活支援ニーズに対応することとしました。
1月	6日（月）	年末年始の休みが明けて大島社協災害ボランティアセンターの活動を再開。島内ボランティア中心に「かわら版」の配布を行いました。
	15日（水）	大島社協災害ボランティアセンターでは、「第2回島内ボランティア交流会」を開催しました。19名の島内ボランティアが参加しました。これまでの活動を報告し、今後の活動への継続的な参加を呼びかけました。
	17日（金）	大島第二中学校のボランティア学習の授業に、副センター長とボランティアスタッフ2名が登壇。これまでの活動や東日本大震災での災害ボランティア活動について話をしました。
	24日（金）	大島社協災害ボランティアセンターでは、今後被災された方々の生活支援を軸に活動を行うにあたり、2月1日付でセンターの名称を「大島社協ボランティアセンター」と改称することを発表しました。
	25日（土）	大島町では、応急仮設住宅への入居が始まりました。これにともない大島社協災害ボランティアセンターでは、引越しボランティアの活動を行いました。
	28日（火）	大島社協災害ボランティアセンターでは、応急仮設住宅の集会所で住民交流会「あいべえ」を実施しました。